

事業業とは  
限りなく  
挑戦である

社会時評エッセイスト

藤誠志

選

願望は自ら実現する ●二〇〇三年七月

正を以て合い 奇を以て勝つ ●二〇〇三年八月

発想は 移動距離に 比例する ●二〇〇三年九月

能ある鷹は 爪を出せ ●二〇〇三年十月

仕事を遊びに 遊びを仕事に ●二〇〇三年十一月

成功の衆に出ずる 所以の者は先知なり ●二〇〇三年十二月

たった一度の人生 人間二百年 生きた人はいない ●二〇〇四年一月

出来ない約束はしない した約束は守る ●二〇〇四年二月

天道我にあらば 百万人と雖も 我、行かん ●二〇〇四年三月

現状を肯定 持てる武器は全て使い 人生を勝ち取れ ●二〇〇四年四月

若さは武器 若さの中に無限の可能性がある ●二〇〇四年五月

勝兵は先ず勝ちて 而る後に戦を求む ●二〇〇四年六月

勝ち取った物だけが残る 与えられた物は つか奪われる ●二〇〇四年七月

人生のどの一瞬を 切り裂いても悔いのない そんな人生を歩いてみたい ●二〇〇四年八月

人間所詮、入れた物しか 出せない ●二〇〇四年九月

飛べる時には飛べ ●二〇〇四年十月

先んずれば人を制す ●二〇〇四年十一月

自分で風を起こし その風に乗れ ●二〇〇四年十二月

自分に見栄を張って生きろ ●二〇〇五年一月

賢者は歴史に学び 勝者は歴史を創る ●二〇〇五年二月

伶俐に計算 果敢に決断 迅速に実行 ●二〇〇五年三月

全体の中に部分があり 部分を集めても 全体とはならない ●二〇〇五年四月

始める時から 終わる時を 考えろ ●二〇〇五年五月

断じて行えば 鬼神も是を 避く ●二〇〇五年六月

運は先読みする人の 味方 ●二〇〇五年七月

## 事業とは限らないロマンへの挑戦である



Patriotic Essayist  
藤 誠志  
Seiji Fuji

小学生時代より読み続けた新聞による知識を、世界65カ国にも及ぶ諸国の遊学と経験で検証し、あらゆる国の文化、慣習を身に付ける。キューバのカストロ首相との鼎談をはじめ、李登輝前台湾総統、金泳三元韓国大統領、ホセ・デ・ベネシアフィリピン下院議長兼与党共同総裁や森前内閣総理大臣など、これまで訪れた国々に多数の交友関係を築き、世界の政治・経済・軍事の情報をいち早くキャッチするとともに、歴史や文化、建築物、デザインなどに深い関心を寄せる。アパグループ創業者としてグループの代表を務めるほか、社会時評エッセイスト、CFプロデューサー、コピーライター、プランナー、デザイナーとして活躍。射撃、テニス、スキーとともにモータースポーツをこよなく愛し、レース経験を持つ大のモーターファンで、オーストラリアFIAワールドラリーにプライベートチームをエントリーさせ、Nクラス総合世界第3位に輝く実績を持つ。